



加
 治
 田

东
 溪

集
 嶽
 下

特 別
 ^5
 6673
 14
 早稲田大学図書館



寶曆五乙亥



歳且

家里ハ市一巾一に
きよ死流也ありて
と朝もなるとさら
心さきよなれハ

恙水や氷ハ青の俵ふく見尔

弁珂園

心よふくく年此初花 歳今

うちぬきに揚屋の二階處せて 蘇門

松の名より世てかろくぬ
喜をこしぬく人と神流の
松より初て連中へその
歌をわつとて

百枝松 守雪

枝こつ春を配りや松れ文
相生松

松尔亦も相生の名や初春 蘇門

筆捨松

筆も又捨えや松れそつ景色 馬々

世来松

年終や松に世来此で屏風 盲人
有来

琴弾松

東風吹や松も琴れ初志る

女

一更松

川松やきも一更の法をどち 哉今

一つ松

幸傍の松くさく先く初かきと 文也

二本松

きまきに松のあさ木や同じり 有隣

笠松

明く今初子を世の着を笠松の笠 介布

姫松

孝り姫子やま青法を姫小松 其柳

若松

若松やまのひくしと初日影 亀友

老松

老松やその十より花の春 不谷

作まももま染のこ路
介珂園のあるところ
年の名跡はまきくれ
下れい

言此葉よまありてや越ん年此遊 云介坊

言ハ岡見もやまね山流ハ 見尔

女房のゆゑてき酒のめりて 不吞

どのお通りり馬船てま家 蘇門

おはまんとくけ孫やま月おす明り 守雪

秋よらつほそ落には露 哉今

閑窓よ除おと

観ス

年も文てめ舞や 介珂主人

おの風



42